

月刊 岩田会計 第15号

平成20年3月31日

税理士 岩田英人

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

桜はあっという間に満開となり我々にその存在を見せつけたかと思うとあっという間に見事に散っていきます。桜のはかなさや美しさを人生や経営と例えることも多いようですが皆様はどう思われますか？



【平成20年3月号】 500億円から1000億円

今回のタイトルの数値がぴんと来る人はどれくらいいるでしょうか？
この数字は東国原宮崎県知事が知事就任後、どれだけの経済効果を生み出したかを関西学院大学の教授が算出したものだそうです。

観光客は前年比20%以上アップ、県の物産売上は年間8億円ものアップということでここまで地域活性につながったのは今までにないケースだと言います。

我々一般企業に置換えてみると土俵も違いますし、規模も違いますが、如何に多くの方々（消費者）に認知してもらうこと、消費者の五感に訴えるものを提供し続けることが大切なのではないかと思えます。

ただ、この状況もいつまでも続くわけではないので一気に伸びているときは足元をしっかりと見てリスク管理を徹底した計画遂行に取り組んでいく必要があります。

常に前を向いて全力で走ることといつでもブレーキを踏める冷静さ、方向変換のできる柔軟さを持ち合わせていることが企業経営に必要な要素だと改めて痛感します。

岩田会計事務所は経営理念策定・経営計画策定・経営計画遂行支援に力を入れて取り組んでおります。お気軽に声をかけてご相談ください。